

《かわさき歴史文化講座》

壮大な壕の連続！土の芸術！中世連郭式山城跡

前川本城跡(中ノ内城)見学会



平成30年6月9日(土)10:00～11:40

【参加費無料・要予約定員18名】雨天中止

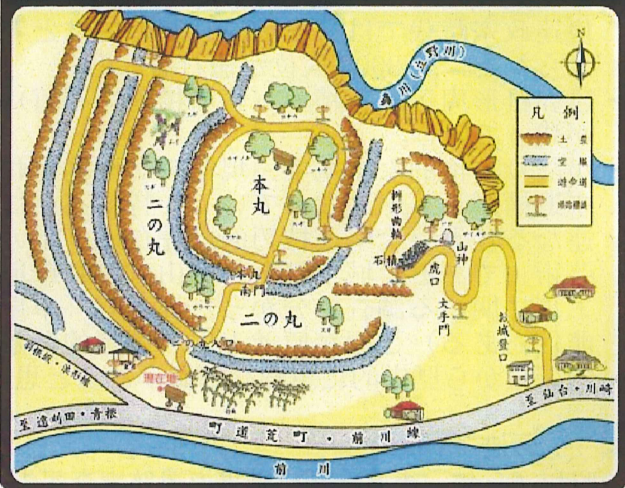
講師：菅野正道氏(城郭研究家・前仙台市博物館主幹)



- 9:30～ 受付(川崎町公民館※役場隣)
- 10:00 公民館前シャトルバス出発
- 10:10～11:20 本城見学
- 11:30 シャトルバス本城出発
- 11:40 解散

本城址説明略図

(柴田郡川崎町前川)



※駐車場がないので川崎町役場前駐車場からシャトルバスで送迎いたします。

※現地にトイレがございません。出発前に公民館のトイレをご利用ください。

※歩きやすい服装、靴でご参加ください。

※13:00～15:00まで下記の場所に川崎町史跡案内ボランティア・川崎町歴史友の会の方が常駐し、ご希望によりご案内いたします。

- ①龍雲寺(川崎伊達家廟所・砂金氏の墓)
- ②円福寺(支倉常長の墓・上楯城入口)



《申込・問い合わせ・当日受付場所》締切6/6  
 川崎町生涯学習課(公民館内)  
 〒989-1501  
 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175-2  
 TEL:0224-84-2111(内線1193)  
 FAX:0224-85-1026  
 E-mail: kyouyou@town.kawasaki.miyagi.jp

主催：川崎町教育委員会・川崎町文化財保護委員会  
 後援：川崎町歴史友の会・川崎町史跡案内ボランティア

《申込用紙》 6月9日の本城見学会に参加します

お名前	性別(男・女) 年齢( )歳		
ご住所	〒		
電話番号			



## 前川本城（中ノ内城）跡概要

### 《 歴史 》

- ・前九年の役（1056～）の時、安倍貞任が精鋭 4000 と川崎柵によって戦う。この柵を地名から中ノ内城とした。
- ・戦国末期 1573 年（天正 1 年）砂金氏 8 代常久が築城。11 代常房が前川城に移転（1609 年）するまで居住。（36 年間）
- ・笹谷街道と羽前街道に接し、交通の要所であり、山形最上氏、米沢上杉氏と隣接しており伊達氏にとって重要な防衛拠点であった。

### 《 特徴 》

- ・中世連郭式山城、東西南北ともに 200m、本丸、二の丸と大規模な土塁と空堀で馬出曲輪を構え、そこに内枡形を二つ重ねてつけた異様なほど技巧的な虎口をもつ。
- ・砂金氏（1500 石程）の動員人数に対して曲輪が広すぎるため、関ヶ原の頃に上杉対策に増援を考え、外曲輪（作りが戦国時代・伊達政宗時代では）を増設したのではと考えられる。※ 3000 人位が籠れる二の丸
- ・連郭枡形周辺に石積み（野面積みの石垣）が残っている。
- ・かなり本格的な山城で、現在でも破壊されず遺構がしっかり残っている。特に三重に連なる壮大な土塁と技巧的な虎口は「土の芸術」である。城下町として山形自動車道工事に関わる調査で分かった城下町「本屋敷」遺跡（防御性をもった町割りで外曲輪の可能性もある）と関が原前という歴史的背景・街道沿いと近隣有力大名との確執という地理的背景から歴史的に重要な価値があると思われる。

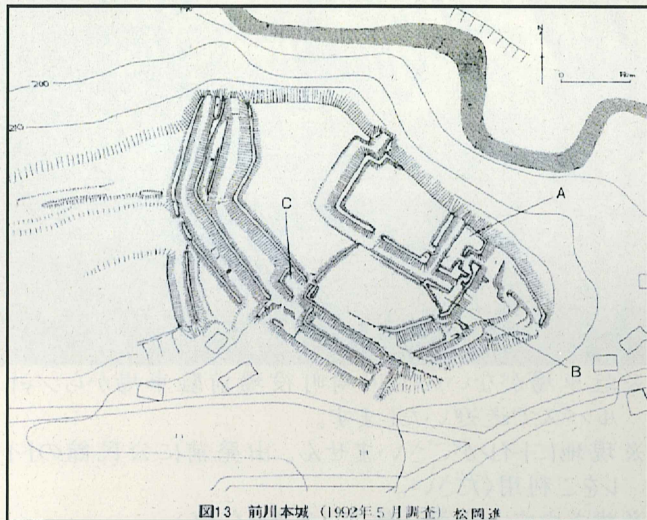


図13 前川本城（1992年5月調査）松岡進

### 《 その他 》

- ・昭和 61 年 東北横断自動車道遺跡調査報告書 I（県教育委員会・道路公団発行）に本屋敷遺跡調査報告書掲載。
- ・平成 4 年 城郭専門家 松岡進氏 本城ラフ調査実施（おおまかな縄張り図作製）  
※平成 14 年 戦国期城館群の景観（校倉書房発行）で発表
- ・平成 20 年から前川地区の方と文化財保護委員会および生涯学習課で調査整備を始める。
- ・平成 21 年 歴史読本「日本の名城都道府県別ベスト 10」新人物往来社発行で宮城県 6 位で紹介される。記事は城郭の専門家で有名な松岡進氏が執筆。
- ・平成 23 年 「宮城野遺跡 100」宮城県文化財保護協会発行で本屋敷遺跡が掲載。
- ・平成 26 年 「川崎のほこり」講演会 仙台市博物館 菅野正道氏  
「笹谷街道沿線の戦国志～砂金氏の動向を中心に～」で前川本城中心に講演。
- ・平成 27 年 福島県伊達市歴史講演会「北の関が原-その実像を探る-」にて仙台市博物館主幹 菅野正道氏が「伊達政宗の戦略と攻防」で「前川本城」を中心に講演した。
- ・平成 28 年 「歴史書通信 11 月号」（歴史書懇話会）に本城の写真が表紙に使われ、記事掲載「城郭研究のフロンティア」執筆者：東北学院大学准教授 竹井英文氏。
- ・平成 29 年夏 吉川弘文館から「東北の名城を歩く 南東北編」に本城が 4 ページにわたって掲載。執筆は前仙台市博物館主幹 菅野正道氏。

